

事務事業名	庁舎等維持管理事業		所属部局	総務部	単位番号	3083					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	管財契約課	課長名	樋川 純一					
			所属担当	財産管理担当	担当者名	渡辺智一					
基本政策	基本計画	99 施策に結びつかないもの	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目	
政策	計画	99 施策に結びつかないもの	事業区分	01	一般	02	01	06	020	03	
施策	体系	99 施策に結びつかないもの		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業	<input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業		<input type="checkbox"/> 補助金交付事業		<input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度)		<input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金	<input type="checkbox"/> 市議会の議決による義務的事業		<input checked="" type="checkbox"/> その他の事業				
事業の内容	期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		法令根拠								
事務事業の概要	庁舎等に係る維持管理		事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)								
	○施設・設備の維持管理		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)					
	○光熱水費等諸経費の支払い		消耗品	4,357	設備維持管理委託料	1,841					
	○施設管理に係る物品等の調達		光熱水費	22,440	その他委託料	10,275					
	○施設からの廃棄物の収集運搬委託		修繕費	6,057	事務備品購入費	2,347					
			通信運搬費	10,320	その他経費	3,539					
			施設維持管理委託料	12,295	計	73,471					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容	庁舎等の維持管理	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	27年度活動予定	庁舎等の維持管理			ア 委託件数	件
					イ	
					ウ	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	庁舎		⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	市民				ア 庁舎数	施設
	職員				イ 市人口	人
					ウ 本庁舎職員数	人
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	庁舎設備を良好に維持管理することにより、来庁舎の利便性や職員の執務環境の維持・改善を行い、公務の円滑な遂行を図る。		⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 来庁舎苦情件数	件
					イ 職場環境改善件数	件
					ウ	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	良好な行政サービス環境の確保		⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
					ア 市民満足度調査の「本庁の利用しやすさ肯定的回答」	%
					イ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終	年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)	
		国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	65,478	65,875	73,471	63,944	65,000	65,000		
		事業費計(A)	千円	65,478	65,875	73,471	63,944	65,000	65,000	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	960	960	960	960	960	960		
		人件費計(B)	千円	4,369	4,369	4,369	4,369	4,369	4,369	0	
		(A)+(B)	千円	69,847	70,244	77,840	68,313	69,369	69,369	0	
	活動指標	ア	件	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0		
		イ									
		ウ									
	対象指標	ア	施設	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0		
		イ	人	73,211.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0		
		ウ	人								
	成果指標	ア	件	2.0	2.0	1.0					
		イ	件	1.0	2.0	5.0					
		ウ									
	上位成果指標	ア	%	32.0	39.5						
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	合併により旧榑形庁舎を市本庁舎として利用し、維持管理を行ってきた。公共施設の廃棄物収集は、平成21年度より実施。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	機構改革、担当課、事務量の増加により、現庁舎ではスペース的に限界がある。施設の老朽化による修繕費等の増加。IP電話システム設備の老朽化と、故障機器の耐用年数経過による新規購入費が増大、システム自体の検討
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	照明設備をLED化していくべきであること。駐車スペースが不足していること。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	庁舎の省エネルギー化として、本庁舎へLED照明設置、空調システムの改修、太陽光発電システム(10kw)の導入、一部照明のLED化。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	本庁舎、西別館の修繕。LEDの購入。

事務事業名	庁舎等維持管理事業	所属部	総務部	所属課	管財契約課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 庁舎等の維持管理に係る経費であるため結びついている
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市役所庁舎であり、妥当である。 設備・保守等に関しては民間に委託している。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 施設・設備等良好な状態に維持することは必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 施設・設備の老朽化による改修等が必要であり優先順位をつけて順次改修をしている。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 適正な庁舎等の維持管理ができなくなる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 適正な庁舎等の維持管理ができなくなる。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 ・ゴミの分別・指導を再度職員への周知徹底することにより経費削減が見込まれる。 ・無駄なコピーを少なくし、コピーカウンター料を抑制する。 ・施設・設備の老朽化による改修の際に、高効率の設備を導入する。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 設備・保守等に関しては現に民間に委託している為。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 全ての市民が受益者であり、公平公正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	現施設は規模的に小さく事務所も分散している。また、新たな部署の設置に伴い、会議室の減少、事務スペースが狭くなっている。このような施設を今後維持管理していくには光熱水費、修繕費などの抑制をしていながら、新庁舎建設を見越して低コストで維持管理出来るようにしていかなければならない。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ・新庁舎建設を見越しながら有効な改修を行う。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ・今後の施設の利用状況を考えながら、必要に応じて来庁者の利便性、職員の執務環境を良好に保つことが課題である。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					